

## 第54期中央労働講座を終えて

5月18日(木)～20日(土) 愛知県豊橋市ホテルシーパレスリゾートにて中央本部6名、参加者27名で第54期中央労働講座が開催され、関西から神戸支部の執行部として参加してきた。

初日は鈴木龍一副委員長による「メンタルヘルス対策」の話から始まり2日目は鈴木誠一委員長による「全国港湾の成り立ち」、午後から畠山副委員長が「港湾運送事業法」について、最終日に橋崎副委員長から「毛間港運闘争」の話聞いた。

進め方は委員長、副委員長のテーマにそって1班7、8名(中央本部1名)の分散会を4班作り、座長、書記、発表役を決め、時間内で意見をまとめ発表するという事でした。

自分は座長にあたっており議題についてみんなに聞いていくのだが話し方が不慣れなため、まとまらないまま発表という事もあったが最終日に近づくにつれ懇親会を重ねた事もあって、活発な意見が増えた。

座長をする事で、コミュニケーションが大切だと言う事と、意見を時間内にまとめる難しさを学んだ。

今回の講座にあたり「心のケア」「歴史」「港湾運送事業法」「実体験」などを講師の方が受講生にわかりやすく丁寧に説明、段取りしていただいたき理解することができた。

この中央労働講座の内容や出来事を自分だけで終わらすのではなく、支部、分会に持ち帰り展開していくことで組織の強化や育成につなげていきたい。

関西地本 神戸支部  
藪田 寛也